

令和3年6月市議会教育厚生委員会資料

第65号議案

令和3年度長崎市一般会計補正予算（第9号）

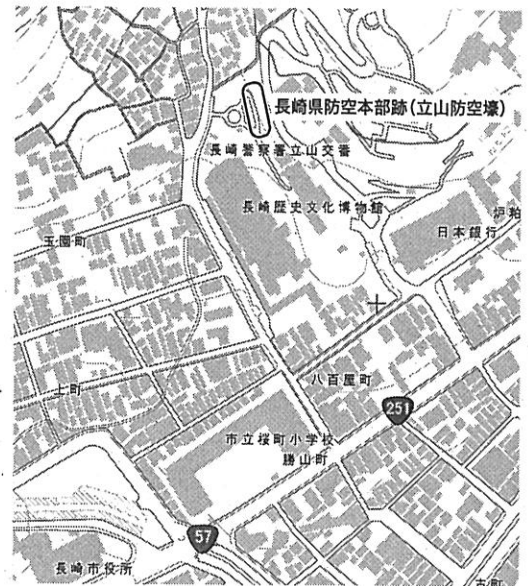
目次	頁
【2款1項11目 平和推進費】	
1 【補助】被爆建造物等保存整備事業費	
1 長崎県防空本部跡（立山防空壕）・・・・・・・・・・	1～2

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
20 ~ 21	2 総務費	1 総務管理費	11 平和推進費	1-1	【補助】被爆建造物 等保存整備事業費 長崎県防空本部跡 (立山防空壕)	千円 20,700

1 概 要

長崎市立山1丁目長崎歴史文化博物館横に所在する長崎県防空本部跡(立山防空壕)は、昭和20年3月ごろまでに設置されたコンクリート製横穴式防空壕である。爆心地から2.7kmに位置し、被爆当時の社会状況を示唆するものとして、長崎市被爆建造物等Bランク(保存対象の被爆建造物等)として保存・活用している。

令和2年度、長崎県防空本部跡(立山防空壕)の劣化対策に向けた測量や地盤調査等、遺構の現状把握を行い、その成果に基づき遺構保存にかかる応急修理、老朽化している電気設備等の更新設計、立入制限エリア(Aエリア)の開放に向けた調査・設計を実施する。



2 事業内容

(1) 事業期間 令和2年度～令和4年度(予定)

(2) 事業費 令和3年度

20,700千円

【内訳】

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ① 覆工内部と床面の空洞の詳細調査と応急修理 | 6,300千円 |
| ② 老朽化している電気設備等の更新設計 | 2,400千円 |
| ③ 立入制限エリア(Aエリア)の開放に向けた調査・設計 | 12,000千円 |

※令和4年度に、老朽化している電気設備の更新や、展示什器の更新、説明板の内容の充実と多言語化の実施、立入制限エリア(Aエリア)の公開に向けた環境整備を検討中。

3 財源内訳

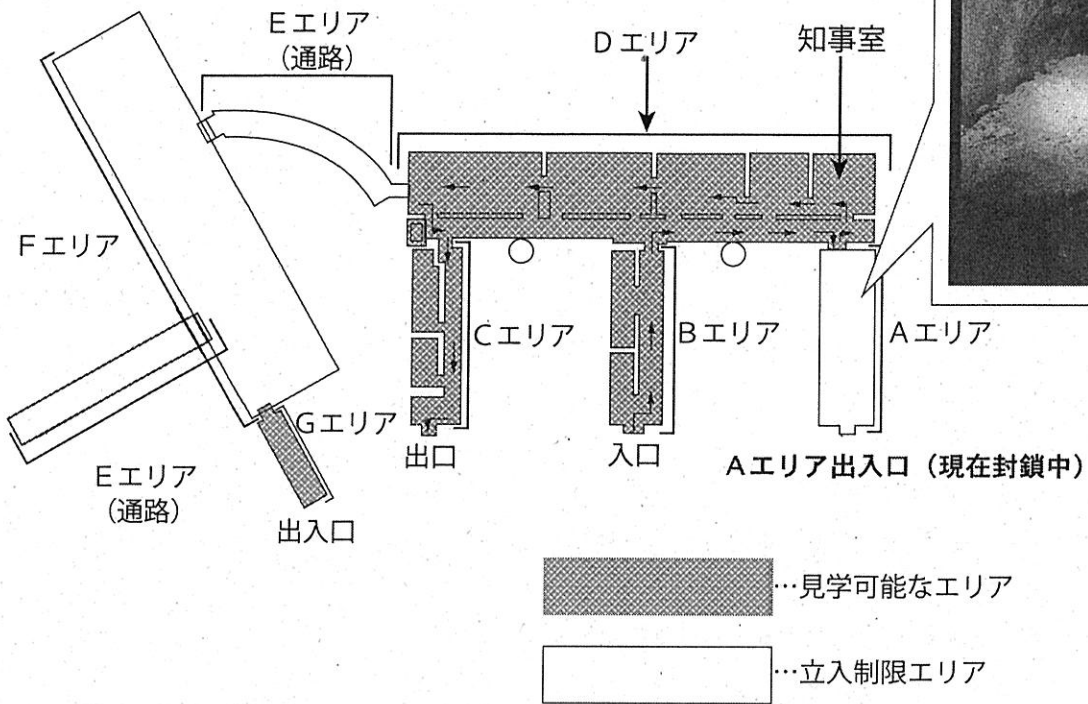
事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
千円 20,700	千円 13,800	千円 -	千円 5,100	千円 -	千円 1,800

※1 原爆死没者慰霊等事業費国庫補助金 国庫補助率 事業費(20,700千円)の2/3

※2 一般補助施設整備等事業債 充当率75%(交付税措置率 -%)

【参考 図面・写真】

長崎県防空本部跡 配置図



長崎県防空本部跡 外観

